

## COLUMN: 先生紹介 ▶ 尾崎 健悟 (今福教室)

## カイチで知った学ぶことの大切さ



はじめまして、こんにちは。今福教室で個別クラスを担当しております尾崎健悟です。私は中学1年生の時に開智総合学院今福教室に入塾し、先生達の一人一人に対する丁寧な指導のおかげで無事に高校受験を終えることが出来ました。私が開智で学んだことは高校受験を乗り切るために必要とされる知識だけではありません。それは学ぶことの重要性です。

皆さんにとって勉強とは何ですか？私が小学生・中学生だった時は、はっきり言って勉強は嫌いでした。テストが近づくと時間の大半を勉強に費やさなければならないこと、ゲームなどの娯楽の方が勉強より時間の過ごし方として

有意義に感じられたことなどが当時の私の勉強が嫌いだった理由です。その考えを固辞し続けたまま迎えた中学2年生の夏期講習の中頃、そこで私の考えが大きく変わるターニングポイントも同時に迎えることとなりました。

それは授業中でのことでした。ある先生が「今は皆、勉強は高校受験、大学受験、将来の夢を叶えるためにしなければならないことだと考えているかもしれないけど、学ぶことの本質はそんな狭い話ではない。学ぶことは何歳になってもやらなあかんことやし人間の成長には必要不可欠な行為の1つと考えられてんねん。確かに勉強することもめんどくさいし投げだしたくなる気持ちも分かる。けどな、高校受験や大学受験の為に勉強なんか長い期間のように感じられるかもしれないけれど実際はあっという間で短い。そんなことも乗り越えられへんような奴はこれから先の長い長い人生の中で自分にとって不都合なことがあるとすぐに楽な選

択をして、自分の不幸を世の中の仕組みのせいにして人生を無駄にしてしまう奴が多い。楽な選択肢はあちこちに転がってるけど、重要なことは自分にとって苦しいことに対していかに真摯に取り組むことが出来るかということなんや。その先にある結果がどんな形であっても人としての成長にプラスの効果を得られるはずや。楽しい人生を送りたかったら、まず勉強しろ。次に継続する努力をしる。最後は今までやってきたことに対して自信を持て。」と仰っていた言葉は今でも鮮明に覚えています。

あの日の言葉を胸に私は大学受験を無事に乗り越えることが出来て、今は京都府立大学に通っています。本誌を読んでいる生徒さんの中には勉強が嫌い、めんどくさいと感じて勉強をしていない人がきついていると思います。これだけは分かっています。受験に失敗して最も困るのは自分自身だということ。

対馬の  
ちょっと  
イイ話

TEACHER'S VOICE 対馬 秀彦 (カイチ予備校, 今福教室)

## 8月6日という日

私自信は大阪育ちなのですが、生まれたのは広島県の病院です。父は広島県の出身、母は山口県の出身で、親戚もほとんど広島近辺にいます。

そんなわけで、私が子供のころ、家族は毎年、夏休みのほとんどを広島で過ごしていました。我が家の毎年の恒例の行事として、「平和公園に行った後、広島市民球場で野球を見て帰る」というものがありました。もちろん、我が家は全員カーブファンでした。

何事にもぐうたらな子供だった私は、よく「野球だけ見に行きたい」と言っていました。平和公園に行くのは暑いしめんどくさい、ただ、プロ野球は面白いから見に行きたい、そんな子供でした。何せその当時のカーブは強かったので、野球を見るのは楽しかったのです。(今のカーブも相当強いです、その当時、今と同じくらい強かったのです。山本浩二や衣笠、高橋慶彦といったスター選手がそろっていました。)

それに比べ、平和公園に行くのは疲れるだけでした。「毎年行かなくてもいいのに」と思って

いました。

私が、この毎年恒例の行事が、他の家の「お盆のお墓参り」の代わりだと気づいたのは、だいぶ大きくなってからでした。考えてみれば、父方の家には「先祖のお墓」というものがありませんでした。原爆の時にお墓自体が焼失した(多分)のと、原爆で亡くなった親戚もどこで亡くなったかわからないままだったので、「きっと平和公園に埋葬されているだろう」と思ってみんな手を合わせに行っていたというわけです。子供のころ、「観光に行っているのかな」と思っていた平和公園は、実は我が家にとってそういう特別な場所でした。おそらく、広島にはそういう人がたくさんいた(今もいる)のでしょう。昨年、自分の子供を連れて数十年ぶりに平



和公園を訪れました。子供のころは、まさか自分が自分の子供を連れて来ることもあるとは思いませんでしたので、不思議な感じでした。久々に訪れてみると、やはり色々と考えさせられる場所でした。「平和の尊さ」とか、「戦争の恐ろしさ」とか、そういう言葉で言い表せるものではない、何かもっとあきらめのような感覚。世の中には個人の努力ではどうしようもない大きな出来事がある、多くの人が人生が全く違うものになるほどの影響を受けながら、現実を受け入れて生きているんだなあ、という感覚です。数年前、あるカーブの選手が、8月6日のインタビューで、「普通に野球ができるという幸せをかみしめながら、丁寧にプレーしたい」ということを言っていました。全くその通りだと感じました。自分も平和な世の中に感謝しつつ、通っていただいている生徒の皆様にも最良の環境で学んでいただけるよう、丁寧な仕事を心がけねばと思います。

8月6日は、人類史上初めて核兵器が使われた日。この日になると、毎年こういうことを考えさせられます。



## 生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

## Growing

September 2018  
Vol. 73  
毎月10日発行【本 部】  
城東区今福西2-1-8モデラトWASHIMI 201  
TEL.06-6939-0008【今福教室】  
城東区今福西 2-9-20  
TEL.06-6934-4662  
【諸口教室】  
鶴見区諸口 4-14-9-1F  
TEL.06-6912-3984  
【今津教室】  
鶴見区今津南 1-6-2-1F  
TEL.06-6167-9722【今福第2教室】  
城東区今福西 2-16-8  
TEL.06-6931-2000  
【関目教室】  
城東区関目 4-6-17-2F・3F  
TEL.06-6934-8117  
【古市教室】  
城東区古市 3-21-8  
TEL.06-6931-0467

高木 秀章 (塾長)

夏期講習にサマーキャンプ…  
そして、いよいよ2学期もスタートです。

先日の台風、凄かったですね。おそらくどこのご家庭も少なからず被害があったのではないのでしょうか。当日カイチは休講で自宅待機でしたが、午後2時から4時あたりは、あまりの暴風雨の激しさに家が潰されるのではないかと心配になりました。窓の外を見ると、様々な物が飛ばされているのが見え、風で飛ばされた物が車のフロントガラスを割るケースも何件か聞きました。私の親の家も網戸が壁にぶつかり穴が空いていました。改めて台風に対する備えの大切さ、少なくとも二次災害防止、風で物が飛ばされないための固定や、片づけの大切さを痛感させられました。

ただ、感心したのは、日本人の折り目正しさというか勤勉さ。台風通過後は、一斉に表に出て皆が掃除を始め、業者さんも台風が過ぎるのを待っていたかのように駆けつけ修繕を行っていました。救急車のサイレンも台風通過と同時に深夜まで鳴り続けていました。このような非常時でも、皆が冷静で、少しでも早く日常に戻る準備をきちんと行う。やはり日本人はすごいなと感じました。



▲教室のいたるところに自習スペースが。

この夏休みは、諸口の高木先生が急遽入院し、(9月中旬には戻りますのでご安心ください。病院の食事で体重は18kg落ちたそうです。) 諸口教室に代講に入っています。諸口生を指導していて感じることは2つあります。1つ目はとにかく質問が多い。その秘密は廊下や教室の端など、至る所に自習用の机と椅子が設置されていることにあります。生徒達はちょっとした待ち時間でこの机と椅子に座り自習や読書をしています。広い廊下でも生徒達は自習していますから、生徒達は通りかかった先生をその場で捕まえて質問ができます。また、質問される私達もその場ですぐに教えられるのでとにかく便利です。

2つ目は、みんな素直で礼儀正しい。挨拶はもちろんのこと、態度の悪い生徒がいない。宿題もきちんとやってくるし、受け答えもしっかりしている。そして生徒達の元気がすごい。これは、高木先生をはじめとする諸口の先生達の普段からの指導が行き届いている証拠だと思います。高木先生、早く元気になり、いつものパワフルな授業をして欲しいものです。

また、夏期講習期間にはカトリナ、シルバ、私の奥さんの奈穂子先生の4人と12名のTK生とでサマーキャンプに行ってきました。これは、私にとってはこの夏1番の思い出です。私と奈穂子先生は英語が話せない



▲毎朝歩く花博も…

ので、TK生達とほぼ同じ目線でこのサマーキャンプに参加しました。このサマーキャンプのルールは英語をできる限り話すこと。キャンプ内では、ビーズ作り、シャボン玉、卓球、野球、肝試し、バーベキューなど様々なアクティビティが用意されており、それをグループで競いポイントを獲得する仕組みになっています。ただし、日本語を少しでも話すと鬼のシルバ先生がポイントを奪ってしまいます。このシルバ先生がとにかく厳しい。しあわせの村に入ると子供達のコミュニケーションは、英語とボディランゲージに代わり、英語に疲れた私がついつい日本語を話すと「Don't speak Japanese.」と厳しい顔で注意してきます。中には、私の日本語につられて日本語で話し、シルバ先生にポイントを奪われる惨事も発生しました。

小さい子供達も多かったので集合時間や準備に、もたつかなと思いましたが、グループで助け合いトラブルらしいトラブルは全くありませんでした。私の部屋では、1人の生徒が荷物の整理を行うと、みんなそれに習って整理を行い、寝る前には翌日のお茶を入れるために水筒を洗ってから寝ていました。就寝時も騒ぐことも一切ありませんでした。子供達は、自分しかいないという状況になると、自ら賢明な行動を考え実行する力があるのだなと改めて考えさせられました。

ただ、部屋に戻ると「安全地帯やー」といって日本語を話しエンジョイしたり、朝食でアイスコーヒーを飲むことが大ブームになったり、子供達はやっぱり、ユーモアを持って楽しんでいました。

今回のサマーキャンプでは「子供達を英語の1泊旅行に連れて行きたい」というカトリナ先生の一声から、約3カ月かけ、場所の選定、ルール決定、アクティビティ準備の全てを、ミーティングを何度も重ねながらカトリナ、シルバ、恭子先生が行ってくれました。特にカトリナ先生は62才。(本人に年齢の話をするのと叱られますが、驚きです。)彼女は、本当にパワフルでポジティブ、そして子供達への愛に溢れています。「日本の子供達に必要なのはflexibility(適応性)とconfidence(自信)。」自身もフィリピンから日本へ働き、娘を名門フィリピン大からアメリカに留学させ国際人として育てた彼女の言葉には重みがあります。

国際化社会に向け、子供達に適応力とそれに伴う自信を与える。それは、英会話の指導だけでなく学習指導や珠算指導においても可能なことだと私達は考えます。まだまだ未熟な私達ですが、子供達が広い視野を持ち、豊かな将来に向け可能性を伸ばすことができる、そんな教室を目指し取り組んでいきたいと考えています。

いよいよ2学期もスタートです。スタッフ一同、精一杯指導してまいります。



▲みんなでイングリッシュバーベキュー!

## カイチからのお知らせ

- 中学部中間模試を今福教室(放出)9月12日(水)・13日(木)(その他の学校)9月27日(木)・28日(金)、関目教室(董・旭東)9月12日(水)・13日(木)(緑)9月27日(木)・28日(金)、諸口教室9月12日(水)・13日(木)、今津教室9月19日(水)・20日(木)で実施いたします。
- 小学部診断テストを9月26日(水)に実施いたします。■ 夏期講習最終日に受験した模擬試験結果の返却は9月下旬～10月上旬を予定しております。

# Focus



## CLASSROOM REPORT 教室レポート

# タフに乗り切り、 実力と自信を身に付けた夏になりました!

小幡 翔太郎 (関目教室)

例年にない酷暑の中行われた夏期講習でしたが、今年も無事に終了いたしました。連日の講習会に、元気に子供達を送り出してくださった保護者の皆様のサポートに、深く感謝申し上げます。

さて、今回は関目教室の夏期講習の様子をお伝えしたいと思います。

小学部では、夏期講習中に理科実験がありました。今回のテーマは小4が「豆電球と電流回路」、小5が「コイルモーター」小6が「月の光り方」でした。授業の中で知識は習っていますが、実際にキットを組み立て、「なぜそうなるのか」「実際にはどのように見え、動くのか」を、実験を通して理解しました。私の担当した小6では、自分達で説明書を読んで考えながら、お互いに助け合いながら実験を進めていたのが印象的でした。



▲小6の理科実験の様子。夜に光る月を調べるため、部屋を真っ暗にしていざ実験!



▲実験に臨むみんなの表情は真剣そのもの。

中1クラスでは、中学校入学後初の長期休暇ということで、活動時間の長い学校のクラブと、塾の夏期講習の両立がなかなか大変そうでした。特に今年は気温・湿度ともに高く、部活動中に熱中症のような症状になり、体調を崩す子も多かったようです。ただ、授業の無い日に補習を受けに

来たり、わからない所は授業後も残って聞いていたり、夏休みに入る前よりも「わかるまで」「やりきる」姿勢が身に付いた子が多く見られ、大変頼もしさを感じています。夏期講習を乗り越えたことで得た自信を胸に、2学期からも部活に勉強に頑張ってもらいたいと思います。

今年の中2クラスの印象は、『とにかくタフ!!』。夏の暑さもなんのその、非常に出席率も高く、部活や宿題で大変な中、塾の課題もきちんとこなせていました。やはり1年間続けてこれている分、物事に取り組む姿勢、体力には目を見張るものがありました。(抜き打ちテストへのブーイングもすさまじかったですが…(笑))。

受験指導が中心となる中3クラスでは、お昼の授業ということもあり、部活を続けている子からすると大変だったと思います。しかし、カイチの方針である「勉強も部活も、どちらも頑張る!という考え方が浸透しており、お昼の授業に来れなくても、必ずその日の夜に来て補習・演習をする、というのをみんなが徹底して実行してくれました。夏休み前に「勉強時間を何とか確保して勉強しよう!」と呼びかけており、クラブ引退後・帰宅部の子で1日平均8時間、部活生の子で平均4~6時間は勉強していました。中3はここから大切なテストラッシュです。「長期目標」⇒「1か月の目標」⇒「1週間ですること」⇒「今日すること」というふうに、志望校合格のため、自分には何が必要かを考え、そのために今何をすべきか、明確にして勉強に取り組みましょう。スケジュールシートで計画を立てられる君達なら必ずできるはずです。もし、すべきことを見失ってしまったら、先生に相談しましょう。きつと力になってくれるはずです。写真は関目のニューフェイス! 吉田先生。授業



▲ニューフェイス吉田先生。若さはじけてます!

後には、関目卒業の先輩として、中3生のクラブや進路の悩みごとの相談にもなっていました。



▲TKクラス、発音の練習中!

TK・中学部では、10月に実施される英検に向け、受験予定の生徒達が一生懸命取り組んでいます。今回、中3生の2級受験予定者はなんと11名! 英検受験にあたり大切な「語彙力(単語・熟語)」ということで、語彙力強化に向け、TKクラスに新たに導入された新しい単語帳で単語を覚え、毎回の単語テストを頑張っています。私たちスタッフも、合格に向けてサポートしていきます!



# Education



## KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

# SUMMER CAMP IN SHIAWASE NO MURA - BIT THE HEAT!!

## ~サマーキャンプ in 幸せの村

藤川 カトリーナ (トーキングキッズ担当)

※和訳は別紙にてご用意しています。そちらをご覧ください。

Finally, the most awaited day has come. Talking Kids first Summer Camp kicked off on Aug. 7 & 8 at Shiawase no Mura. The Summer Camp was attended by twelve (12) talking kids students and four (4) teachers.

The Summer Camp is a great time to work with English Learners, so it is a great opportunity for the students to spend as much time as possible in a meaningful and enjoyable activities such as craft making, testing their courage, doing yoga, games and sports. It is during this camp that the students competence are polished, improved and enhanced. Taking students outdoor is definitely a new and interesting learning experience that motivates students to increase their enthusiasm for learning English. Summer Camp helped the students to foster personal growth in a highly supportive environment where students carried out their daily tasks without the protection or help from their families. This also gave them the chance to hone their individual character and confidence which Japanese kids need. If kids can build confidence, they can build amazing things. When we entered Shiawase No Mura the kids were amazed seeing how enormous and beautiful the place is. They were all in awe. We went directly to a restaurant where delicious cold shabu-shabu awaited for the kids. You can see the glow in their eyes. They loved the foods that were served especially the desserts. They even ate a lot which made me feel so happy. After having a sumptuous lunch, we started with the activities. I explained the main rule of the Summer Camp, and everyone must speak in English all throughout the program. Those students who would be heard speaking in English receive a point but when they speak Japanese they are required to give one point to their teacher. Those who earn the highest point receive a special award and a gift.



◀美味しそうなビュッフェに大喜び

The course started on an English lecture for the kids. The first activity was craft making, where they made beads bracelets and paper planes. They showed their originality and creativity to make the bracelet as souvenirs for their moms. After making their planes, they were all excited to fly their planes as farthest as they could. The farthest received points. After that, each of them had a chance to speak in front of the class to tell what they have learned and experienced from the activities. We conducted an awarding program for the students to feel appreciated. I was

so astonished with the eagerness and effort they exerted in trying to speak in English. It may be hard for them to construct a perfect sentence using English but at least they tried and did their best. What is interesting about implementing the English only was, whenever they were having a hard time they just tried to express it through sign language. Surprisingly, I was really amazed how they followed the rule. It is reasonable that they still have errors on grammar, but these can be learned. What's important and first thing they must learn is the confidence to speak and express themselves in English.



誰が一番遠くに飛ばせるかな▶



◀さまざまなアクティビティに挑戦

During the barbecue time, the kids started to learn and practice saying please as a polite way in asking for request. They used the word please in every request they asked like beef please, rice please, shrimp please and etc. This made my heart melt seeing these kids enjoyed the learning process and the activities. After eating, the kids enjoyed making the giant bubbles. They screamed every time they could make huge bubbles and said "WONDERFUL" We did challenging game like the Form a Word. In this activity the children were divided into groups, 4 member each group. Each group was given a set of scrambled letters. The first group to come up on the correct word wins. This tests the student's vocabulary and spelling. Another exciting but a bit scary activity was the test of courage. It was a time constrained activity. The kids were tested to walk in the dark and searched for the objects that were hidden in the partially lighted place. They really did their best and were so courageous in facing the



いろいろな英語の表現を学びました▶

challenge. After a long productive day, the kids took their rest and went to their respective rooms with a smile on their faces.

Kids do also need exercise. We started our day 2 with yoga. We did yoga on the field in front of the hotel where we stayed. Exercise makes them feel better and start the day alive. After yoga, BREAK-FAST! One student approached and asked me "Ms. Katrina, What's for breakfast?" That was Amazing! I can see her improvement and her interest to speak in English. She received a point for this. The day 2 of the Summer Camp was full of fun. The kids played table tennis at the gym. At first, some of the kids didn't like it. They can't hit the ball. After a while, they enjoyed and started to love it. We had a competition which was challenging to the kids. The kids explored the rides and enjoyed everything at the Trim Gym. Unfortunately, the longest slide wasn't available. The slide is still on its maintenance because of the aftermath of the recent earthquake. After the trim gym, we ate lunch under the trees. The hot weather tends them to crave for the watermelon. Luckily, we had one, but the problem was we didn't have a knife to cut it. The last option that we had was to smash it with our hands. The kids couldn't do it. Surprisingly, Mr. Silver smashed it hard with his right hand. Incredibly Mr. Silver made the kids happy specially Daina who loves watermelon so much. After lunch, we started the activities we prepared like Fill the Buckets, Pass the Water and the happiest game was the Tug of War. For the two consecutive days, we accomplished all the activities that we had prepared and achieved the objectives of the camp.

The most exciting part of course is the recognition and certificate giving, and the announcement of the Best 5 students which each kid is aiming for. Everyone was filled with excitement and joy. Congratulations to the group winners and the Best 5 kids who excelled in this camp, and to everyone! You are all winners here! You all did a great job! Achieving goals and enjoying the process activities at the same time was the main objective. I bet to see and sure that each kid has potential and I believe that each of them will have a bright future. I'm already claiming it. I'm so proud of you kids! Another thing, it's so overwhelming and heart melting to hear from these kids that they've really appreciated and will never forget their experiences, learnings and joys from this camp.



▲楽しかったサマーキャンプ

# Education

## KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育 SUMMER CAMP IN SHIAWASE NO MURA - BIT THE HEAT!! ～サマーキャンプ in 幸せの村

藤川 カトリーナ (トーキングキッズ担当)



ついに待ち焦がれた日がやってきました。トーキングキッズ初のサマーキャンプが幸せの村で8月7、8日に行われました。キャンプには12人の生徒と4人の先生が参加しました。

サマーキャンプは英語を学ぶ絶好の機会であり、皆にとって大変意義のある時間になり、工作や肝試し、ヨガ、ゲームにスポーツなどを楽しみました。キャンプの間に皆の持つ力は磨かれ、より良いものに強化されていきました。

生徒を屋外へ連れていくのは新しく、興味深い学習機会であり、彼らの英語学習欲を高める効果があります。サマーキャンプはサポートの行き届いた環境であるとはいえ、子供達は家族からの手助け無しでその日の課題をやり遂げました。このことで皆は日本の子供が必要だと言われている個性と自信を伸ばす機会を得られたことでしょう。自信のある子供は素晴らしいものを創造できるようになるのです。

一日目、私達が幸せの村に入った時、子供達はその場所の広さと美しさにびっくりして言葉をなくしていました。まず私達は直接レストランに向かい、美味しい冷しゃぶをいただきました。皆とても生き生きしていました。特にデザートが出されたときは大喜びでした。皆がもりもり食べている様子を見て私は嬉しくなりました。豪華なランチのあと、アクティビティを開始しました。私はサマーキャンプのルール説明をしました。それは皆このキャンプの間は英語しか話してはいけないということです。英語で会話している子供はポイントをもらえることになっていますが、日本語を話す先生にポイントを返さなければいけません。一番ポイントを獲得した人が表彰され、賞品をもらえるようになっています。



◀美味しいそうなビュッフェに大喜び

アクティビティの説明は英語で行われ、まず工作ではビーズのプレスレットと紙飛行機を作りました。子供達はお母さんへのお土産にとオリジナルティ、創造性ともに豊かなプレスレットを作りました。飛行機を作ったあと、だれが一番遠くに飛ばせるか皆夢中で飛ばしました。一番遠くまで飛ばしたらポイントがもらえます。そのあとは一人一人がみんなの前でアクティビティで何を学び、経験したかを英語で発表する機会を持ちました。我々スタッフは子供達が賞賛される場を持つよう表彰式を行いました。私は皆が英語を一生懸命に話そうと努力する姿に驚きました。彼らにとって完璧な英文を作るのは難しいかもしれませんが、

少なくとも彼らは全力を尽くしてくれたのです。英語しか使えないという状況に興味深かったことは、皆苦勞しながらも常に身振り手振りで表現しようとしていたことです。きちんと皆がルールを守っており、そのことに感動しました。もちろん彼らはまだ文法の間違った英語を使いますが、このことは学習して直していくことができます。大切なことは、まず彼らが学ばないといけないことは英語で話し、表現する自信を持つことです。



お母さんにプレスレットを作りました



バーベキューの間では子供達はプリーズ、という何かを頼むときに使う丁寧な言葉を学び、練習しました。皆、何かをお願いするたびにプリーズを使いました。お肉をください、ごはんをください、エビをください、といったように。子供達がプリーズを知って実際に使う姿をみて私は嬉しくなりました。食事のあとは子供達は大きなシャボン玉作りを楽しみました。巨大なシャボン玉を作るたびに皆ワグダフル!と大きな声をあげていました。また私達は言葉作りゲームをしました。このゲームでは4人ずつのグループに分かれました。グループごとにスペルが混ぜこぜになった問題が与えられました。正しい単語をいちばん早く見つけたグループが勝つようになります。このテストで子供達の語彙力、スペルの力が試されるのです。もう一つ、わくわくドキドキするアクティビティ、肝試しをしました。時間制限をつけて行われ、子供達は暗闇の中で歩き、所々に光る場所に隠されたアイテムを探しました。皆一生懸命に、勇敢にチャレンジしました。長く充実した一日の終わりに子供達は休息をとり笑顔を活かべながらそれぞれの部屋へ行きました。



2日目はヨガからスタート▶

子供達には運動も必要です。二日目はヨガから

スタートしました。滞在したホテルの前の広場でヨガをやりました。運動をすると気分が良くなり、一日を生き生きとスタートすることができます。ヨガのあとは朝食です!一人の生徒が近づいてきて私に“Ms.Katrina,What's for breakfast?”と尋ねたのです。驚きました!私は彼女の英会話の力が伸びて英語に対する興味が深まっているのを実感しました。彼女はこの会話をしたことでポイントを獲得しました。サマーキャンプ2日目も楽しさで一杯になりました。子供達は体育館で卓球をしました。はじめのうちは球を当てることができなため気乗りしない人もいましたが、しばらくすると楽しくなってきました。私達は試合も行い、子供達は皆挑戦しました。また公園では乗り物と遊具をたっぷり楽しみました。残念ながら一番長い滑り台は最近の地震の影響のため検査中で使用できませんでした。その後木の下で昼食を取りました。暑かったため皆、スイカが食べたい気分になりました。ラッキーなことに1つスイカがあったのですが、切るための包丁がなかったのです。残された方法は素手で割ることでした。子供達はできませんでした。驚いたことに、シルバ先生が右手で割ってくれました。子供達は大喜びでした。

昼食後、色々なアクティビティをこなしていきました。バケツいっばいゲーム、水渡しゲーム、中でも綱引きが一番人気でした。スケジュールの詰まった2日間、私達は全ての予定していたアクティビティをこなし、キャンプの目的を達成しました。

一番エキサイティングだったのは表彰式で、そこではポイント獲得トップ5の子供達が表彰されました。全員が喜びと興奮に包まれました。勝ち残ったグループ、キャンプで優れた成績を残した5名の皆さん、そして参加して下さった皆さん、おめでとうございます!あなた達皆が勝者です。みんなよく頑張りました。目標を達成し、同時にアクティビティの過程を楽しむことが1番の目的でした。以前より申し上げていますが、間違いなく皆それぞれが可能性を秘め、輝かしい将来が待っています。私はあなた達皆のことを誇りに思っています。最後に、子供達からキャンプが本当に楽しかったよと、そしてキャンプで得た経験、学んだ事、嬉しかった事、これら全部を一生忘れないという言葉聞いた時、心から嬉しかったです。



▲チームシルバのみんな